

板橋区立教育科学館指定管理者の管理運営業務にかかる評価報告書

板橋区立教育科学館
指定管理者評価委員会

1 指定管理者

(1) 事業者名称：CTC共同事業体

【代表企業】

団体名 株式会社コングレ

代表者 代表取締役社長 武内 紀子

所在地 大阪府大阪市中央区淡路町三丁目6番13号

(令和6年8月1日付けで 東京都中央区日本橋三丁目10番5号に移転)

【構成企業】

団体名 株式会社東急コミュニティー

代表者 代表取締役 木村 昌平

所在地 東京都世田谷区用賀四丁目10番1号

(2) 指定管理期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

2 施設概要

(1) 所在地 板橋区常盤台四丁目14番1号

(2) 開設 昭和63年9月

(3) 設置目的 科学に関する知識の普及啓発を推進し、学校教育及び生涯学習の一層の充実振興を図ることを目的とする。

(4) 建物概要 敷地面積 3,101.99 m² 建物延べ床面積 4,236.46 m²
鉄筋コンクリート造 地上2階 地下2階
併設施設 (常盤台地域センター、新常盤台児童遊園)

3 事業内容

(1) 区立小中学校移動教室の受け入れに関すること。

(2) 科学に関する資料及び装置の展示公開、各種科学事業の実施に関すること。

(3) プラネタリウム等による天文知識の普及啓発に関すること。

- (4) 設備保守管理、清掃業務等施設の維持管理に関すること。
- (5) その他「東京都板橋区立教育科学館条例第2条各号」に掲げる事業。
- (6) 指定管理者自主事業（集客事業、利便性向上事業等）

4 評価概要

(1) 目的

板橋区立教育科学館の管理を行う指定管理者の業務に関し、効率的な運営やサービス水準の維持・向上、利用者の安全対策など、指定管理者制度導入目的に則り適切に運営されているか客観的に評価・検証を行い、その結果を施設の管理運営に反映させていくため実施した。

(2) 評価者

板橋区立教育科学館指定管理者評価委員会

(3) 評価委員会の構成

5名（外部委員2名、内部委員3名）

委員長（板橋区中学校PTA連合会役員）

職務代理（板橋区教育委員会事務局地域教育力担当部長）

委員（板橋区小学校PTA連合会役員）

委員（板橋区教育委員会）

委員（板橋区教育委員会事務局生涯学習課長）

(4) 財務状況点検及び労働条件点検

指定管理者法人の財務状況及び施設従業員の労働条件点検については、外部専門家に委託し、点検結果を基に、評価委員会で評価を行った。

【財務状況点検】

委託先 東京税理士会板橋支部

実施日 令和6年8月1日（木）

実施内容 過去3年間の法人決算書等の計算書類による点検（5段階評価及び所見）

【労働条件点検】

委託先 東京都社会保険労務士会板橋支部

実施日 令和6年7月10日（水） 於：教育科学館

実施内容 書類審査・指定管理者ヒアリング及び従業員面接（5段階評価及び所見）

(5) 評価委員会の開催

【第1回指定管理者評価委員会】 令和6年8月30日（金） 於：教育科学館
現地調査及び指定管理者ヒアリング、評価シートの採点

【第2回指定管理者評価委員会】令和6年9月25日（水） 於：本庁舎 601 会議室
各委員の採点評価に基づく総合評価の協議及び決定

5 評価項目

- (1) 施設の経営方針に関する事項
- (2) 行動規範に関する事項
- (3) 管理体制に関する事項
- (4) 管理活動に関する事項
- (5) 業務改善に関する事項

6 評価方法

事業報告書及び利用者アンケート調査結果の内容審査、東京税理士会板橋支部会員による財務点検結果、東京都社会保険労務士会板橋支部による労働点検結果、現地調査及び指定管理者ヒアリングを基に、評価要領にて決定した評価シートにより各委員が項目ごとに5段階で採点・評価を行い、各委員の採点の合計により総合評価を決定した。

〔評価項目ごとの個別評価の目安〕

- 5点・・・要求水準を上回る成果を出している
- 4点・・・要求水準どおりの成果を出している
- 3点・・・要求水準を概ね満たしているが、工夫の余地がある
- 2点・・・要求水準を満たしていない
- 1点・・・要求水準を著しく下回っている

〔総合評価基準〕

(875点満点)

- 788点以上（9割以上）・・・特に優れている
- 700点以上（8割以上）・・・優れている
- 525点以上（6割以上）・・・適正である
- 350点以上（4割以上）・・・やや劣る
- 349点以下（4割未満）・・・劣る

7 評価結果

- (1) 施設の経営方針に関する事項（評価シート①～⑬） 317点／325点（97.5%）
- (2) 行動規範に関する事項（評価シート⑭～⑰） 80点／100点（80.0%）
- (3) 管理体制に関する事項（評価シート⑱～㉔） 188点／225点（83.5%）
- (4) 管理活動に関する事項（評価シート㉕～㉙） 142点／175点（81.1%）
- (5) 業務改善に関する事項（評価シート㉚～㉞） 41点／50点（82.0%）

【総合評価】 「優れている」 **768点／875点（87.8%）**

※詳細は別紙、教育科学館指定管理者評価シートのとおり

板橋区立教育科学館指定管理者評価シート[指定管理者評価委員会]

施設概要

施設名称	板橋区立教育科学館	所在地	板橋区常盤台4-14-1
所管課名	教育委員会事務局 生涯学習課	指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
指定管理者名	CTC共同事業体 (代表企業:株式会社コングレ)	指定管理者の所在地	大阪府大阪市中央区淡路町3-6-13(令和6年8月1日付け 東京都中央区日本橋 3-10-5 に移転)※代表企業
設置目的	広く科学に関する知識の普及・啓発を推進し、次代を担う創造性豊かな青少年の健やかな成長を図るとともに、科学情報、教育情報を積極的に収集し、学校教育、生涯学習の一層の充実振興に貢献することを目的とする。		
基本理念	①子どもたちに様々な科学教育の機会を提供することで、実体験を通して、驚きと感動を与え、科学好きになるきっかけづくりを目指す。 ②生活に根ざした身近で楽しい魅力ある施設としての認知度を向上させ、区民に文化としての科学を普及する。 ③学校・地域との連携を深め、各団体等に対し、積極的な活動支援を行っていく。		
行動規範	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都板橋区立教育科学館条例及び同施行規則、その他関係法令マニュアル等を遵守する。 ・ニーズを捉えた質の高い事業の実施等、利用者満足度の高いサービスを提供する。 ・充実した情報発信により、認知度を向上させ、利用者の増加を目指す。 ・あらゆる世代が楽しめる多岐にわたる事業を展開することにより、科学教育の拠点施設としての地位を確立する。 ・学校現場や地域活動との連携を図り、積極的な科学教育活動支援を行う。 		
業務内容	教育科学館の事業運営及び施設管理		

評価結果

評価項目		評価の視点		委員会合計	
【施設の経営方針に関する事項】					項目番号
1 施設の現状認識・取り巻く環境の理解・管理運営の方向性					
施設の現状認識並びに経営方針	施設の設置目的や基本理念、行動規範などを踏まえた現状認識並びに経営方針を確立しているか。			20点／25点	①
2 経営方針に基づく具体的な行動					
サービス水準	【基本理念①】 子どもたちに様々な科学教育の機会を提供することで、実体験を通して、驚きと感動を与え、科学好きになるきっかけづくりを目指す。	入館者数	目標216,000人 実績219,688人	25点／25点	②
		プラネタリウム観覧者数	目標48,500人 実績51,122人	25点／25点	③
		アンケートサンプル数	目標1,160件 実績3,776件	25点／25点	④
		ホームページ閲覧件数	目標260,000アクセス 実績946,501アクセス	25点／25点	⑤
		ツイッターフォロワー数	目標1,550人 実績5,710人	25点／25点	⑥
		マスコミ・情報誌登場件数	目標120回 実績141回	25点／25点	⑦
	【基本理念②】	講座(イベント)科学事業参加数	目標1,550人 実績12,977人	25点／25点	⑧
		講座(イベント)定員に対する参加率	目標90% 実績87.2%	20点／25点	⑨

生活に根ざした身近で楽しい魅力ある施設としての認知度を向上させ、区民に文化としての科学を普及する。	プラネタリウム満足度(アンケート)	目標75% 実績94%	25点／25点	⑩
	科学事業満足度(アンケート)	目標75% 実績97.2%	25点／25点	⑪
	移動教室満足度(アンケート)	目標75% 実績100%	25点／25点	⑫
【基本理念③】 学校・地域との連携を深め、各団体等に対し、積極的な活動支援を行っていく。	区内企業・団体等との連携 コラボ事業・出前講座実施数	目標11回 実績42回	25点／25点	⑬
小 計			317点／325点 (97.5%)	

評価項目	評価の視点	委員会合計	
【行動規範に関する事項】			項目番号
法令遵守	法令、区条例、区規則、その他区が定める規程及び協定書に則り、信義に従い誠実に対応しているか	20点／25点	⑭
暴力団等の排除	暴力団等の排除について適切に対応しているか	20点／25点	⑮
平等な利用の確保	特定の団体や個人に偏ることなく、平等な利用実態となっているか	20点／25点	⑯
ノーマライゼーション	障がい者や高齢者等に配慮した運営となっているか	20点／25点	⑰
小 計		80点／100点 (80.0%)	
【管理体制に関する事項】			項目番号
職員の雇用形態	施設運営に責任の担える安定的な雇用形態となっているか	21点／25点	⑱
職員の労働条件	労働法規等を遵守した適正な勤務体制となっているか、職務能力等に対応した適正な給与体系が整っているか、休暇制度や職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がなされているか	20点／25点	⑲
職員の配置体制	適正な職員配置となっているか	22点／25点	㉑
職員の専門性	必要な専門性を備えた職員が配置されているか	22点／25点	㉒
職員の研修体制	職員の指導育成、研修体制は適切であるか	21点／25点	㉓
危機管理体制	事故・災害などに対する綿密な危機管理体制が整っているか、BCPや災害対応マニュアルの内容は適切であるか	20点／25点	㉔
安全対策	利用者の安全についてきめ細かい対策がとられているか	20点／25点	㉕
情報管理	個人情報の保護等に関する指導の徹底など、対策は万全か	21点／25点	㉖
地域貢献	区内事業者の活用、区民の雇用など地域への貢献、地域との連携への配慮がなされているか	21点／25点	㉗
小 計		188点／225点 (83.5%)	

評価項目	評価の視点	委員会合計	
【管理活動に関する事項】			項目番号
経済性・効率性	費用対効果は適切か、当初の目標どおり管理運営経費が縮減されているか	21点／25点	㉗
妥当性	管理運営経費は、その内訳を含め妥当であり、適正に執行されているか	20点／25点	㉘
設備の保守点検	設備機能の維持に向けた保守点検は適切であるか	20点／25点	㉙
委託業務の妥当性	委託されている業務の範囲は適切であるか	20点／25点	㉚
備品の管理	備品の機能維持に向けた保守点検等は適切になされているか、購入備品の登録手続きに遺漏はないか	21点／25点	㉛
環境対策	区の環境施策を理解し、省エネ、省資源など地球環境に配慮した管理運営がなされているか	20点／25点	㉜
施設の利用促進	施設の利用促進のため、積極的な広報活動に取り組んでいるか	20点／25点	㉝
小 計		142点／175点 (81.1%)	
【業務改善に関する事項】			項目番号
アンケート結果への対応	利用者アンケートの結果を踏まえた対応は適切か	21点／25点	㉞
要望への対応	利用者からの苦情や要望等を把握する取組はなされているか、その対応は迅速かつ的確か	20点／25点	㉟
小 計		41点／50点 (82.0%)	
総 計		768点／875点 (87.8%)	

*サービス水準の採点方法(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)

*管理運営等の採点方法(5点:要求水準を上回る成果を出している、4点:要求水準どおりの成果を出している、3点:要求水準を概ね満たしているが、工夫の余地がある、2点:要求水準を満たしていない、1点:要求水準を著しく下回っている)

	総合評価	【評価できる点】
評価委員会評価	優れている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営のコンセプトに掲げている「人を展示する科学館」を実現するために、ラボ制の導入、地域イベントへの参加、区立小学校への移動教室などアウトリーチ活動の活性化を図って認知度を向上させ、来館者数を目標数以上に増加させている。 ・「地域の人をつなげる」をコンセプトに区民参加型の運営を実践し、子供達だけでなく大人や熟年層世代の参加も促している。世代を超えたつながりの創出の試みから、将来的に科学館職員や関係者から著名な研究者が誕生してくれることを期待したい。 ・利用者アンケート結果を運営にフィードバックしていくことで、来場者数やイベントの参加率増加へつなげているとともに、SNSを積極的に活用した情報発信を行い、取材の増加やマスコミへの露出を増やし、科学館の知名度を高めている。
		<p>【助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下の展示設備は、企画展などにより多少の更新がされているものの、予算の関係でもあり、新しいものは少なく感じた。地下の展示スペースは広いので、近隣中学校が集まる居場所や、地域部活(科学部など)など、中学校や中学生との連携を進める活用を検討していただきたい。 ・現状、ホームページやSNSはイベントの告知がメインとなっているので、広報活動を広げるため、外出が困難な子ども達でも楽しめるコンテンツの配信を検討していただきたい。 ・設備の老朽化については、トイレの洋式化とエレベーターの更新(オーバーホール)は利用者からの要望や安全面から喫緊の課題であるため、早急に対応できるように検討を進めていただきたい。 ・展示機材や展示物については、古さを活かしている民間の遊園地等も参考に、今後も工夫を継続していただきたい。 ・子ども達は、金工道具や半田ごてなど道具の使い方をほとんど知らないと思うので、道具を使うものづくりを、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の考え方や安全教育とセットで実践できる実験教室の拡大を継続していただきたい。 <p>【指導・勧告・命令 なし】</p>

* 総合評価の採点方法(評価委員会評価の合計点)…特に優れている(9割以上)、優れている(8割以上)、適正である(6割以上)、やや劣る(4割以上)、劣る(4割未満)